

【議 事】

流域治水の自分事化に向けた取組計画
について

令和5年9月11日

北海道開発局 流域治水推進室長 殿
北海道開発局 事業振興部 防災課長 殿
各地方整備局 流域治水推進室長 殿
各地方整備局 総括防災調整官 殿
沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理官 殿

都市局 都市計画課 施設計画調整官
土地利用調整官
都市安全課 都市防災調整官
市街地整備課 拠点整備事業推進官
水管理・国土保全局 河川計画課 河川事業調整官
河川環境課 技術調整官
治水課 流域治水企画官
防災課 防災企画官
下水道部 下水道企画課 下水道事業調整官
砂防部 砂防計画課 砂防計画調整官
保全課 土砂災害対策室長
海岸室 海洋開発企画官

「水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の自分事化検討会」の
とりまとめを踏まえた流域治水の取組の一層の推進について（依頼）

流域関係者等と連携した流域治水の取組の一層の推進については、令和5年3月20日付けで事務連絡（別添参考資料）を発出したところであるが、今般、「水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の自分事化検討会」での議論を踏まえ、住民や企業等のあらゆる関係者による、持続的・効果的な流域治水の取組の推進に向け、行政の働きかけに関する普及施策の体系化と行動計画をとりまとめたところである。

本とりまとめでは、住民や企業等が自らの水災害リスクを認識し、自分事として捉え、主体的に行動することに加え、さらに視野を広げ、流域全体の被害や水災害対策の全体像を認識し、自らの行動を深化させていくとの基本方針のもと、「知る」、「自分事として捉える」、「行動する」のプロセス毎に普及施策の体系化を行い、伝え方の工夫や自分事化のための手段、主体的な取組が進むための環境整備や持続的に進めるためのポイントなど、普及施策を進めていく上での着眼点と具体策が盛り込まれている。

本とりまとめに基づき、本省においては全国共通のフレームワークやコンテンツを構築し取組の推進を図っていくこととしているが、各流域においても、流域治水への理解度が異なる各主体が「知る」、「自分事として捉える」、「行動する」を実践していくため、本とりまとめを活用し、既存の取組も含め、その目的や狙い、施策体系上の位置づけを改めて意識し、多くの流域関係者を巻き込みながら、創意工夫による独自性の高い、多様な取組を積極的に推進されたい。

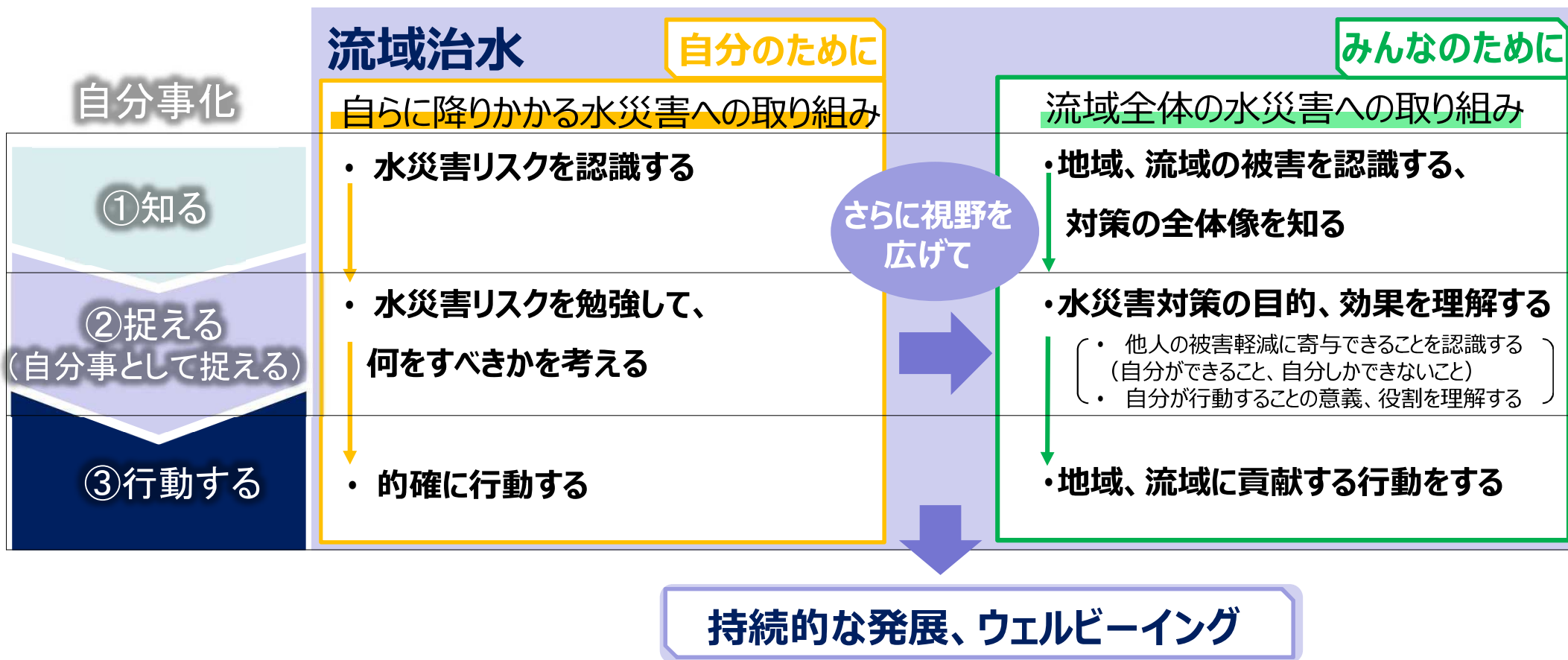
なお、本省においては、本とりまとめに基づき、今後定期的に各種普及施策の推進状況やその効果等についてフォローアップを行う予定であることから、各流域においても、流域治水協議会や大規模氾濫減災協議会等の場を活用し、各主体の様々な取組内容や実施時期等について、関係者で共有のうえ、合意を図るとともに、取組内容について流域治水プロジェクトに反映するよう努められたい。

以上



水災害を自分事化し、総力を挙げて流域治水に取り組む

- 住民や企業などが自らの水災害リスクを認識し、自分事として捉え、主体的に行動することに加え、さらに視野を広げて、流域全体の被害や水災害対策の全体像を認識し、自らの行動を深化させることで、流域治水の取り組みを推進する。



水災害を自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす 総力戦の流域治水をめざして

※社会がスローダウンすると自分事と感じる。
(計画運休、休業、道路の通行止めなど)

1. 背景 (流域治水の推進)

by ALLの流域治水

2℃の気温上昇時、洪水ピーク流量は2割増(4℃上昇時4割増)。河川区域の対策だけでは対応できない。

流域のみんなで、自然、産業を含め文化として治水に取り組む。



◎持続的に開発しつつも社会的機能を維持しながら災害に備える二刀流方式

◎人と人、自然と人、自然と自然のつながり

◎流域を俯瞰した取り組み(山川海全部含めて流域治水)

気候変動緩和の取り組みも流域治水

2. 課題

水災害リスクの自分事化

住民や企業などが自らの水災害リスクを認識し、自分事として捉え主体的に行動する。

流域全体の水災害への取り組みへ

水災害から自身を守ることからさらに視野を広げて、地域、流域の被害や水災害対策の全体像を認識し、自らの行動を深化させることで、流域治水の取り組みを推進する。
※流域治水に取り組む主体を増やす(自分のためにから、みんなのために)



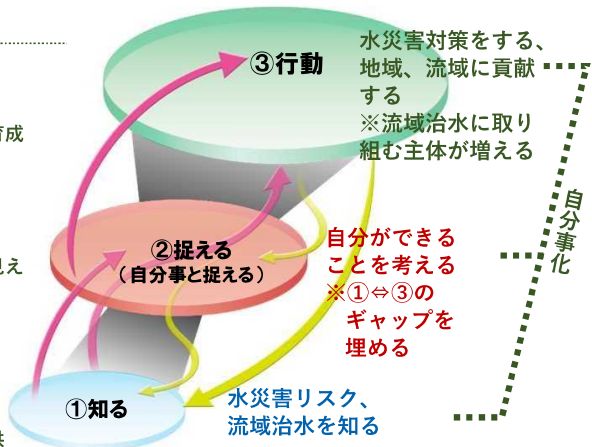
流域治水を推進する上で、自分事と捉えることが課題

3. 流域治水に取り組む主体を増やすための取組方針

大局的には①知る→②捉える(自分事と捉える)→③行動の流れを作り、取り組みの幅を広げ、トップランナー育成や要件化・基準化等を通して流域にも視野を広げていく。

取り組みの例

- 要件化・基準化
- トップランナーの育成
- 流域治水への貢献
- ビジネスへの支援
- 流域対策への支援
- 取り組み、効果の見える化
- 連携活動
- 教育活動
- 流域治水の広報
- リスク情報等の提供



意識の醸成を図り、国民運動、日本の文化に

日々の生活の中で水害、防災のことが意識され、全国的に水災害リスクの自分事化が図られ、その視野が流域に広がり、社会全体が防災減災の質を高めるとともに、持続的に発展していく。

4. 施策を進めていく上での着眼点と具体策

◎ 具体施策

(1) 知っている人を増やすことと伝え方の工夫

- ◎気象条件を伝えるなど他人事化できない状況を定着
- ◎取り組みを促す相手の特性に応じて伝え方を工夫
- ◎インフラツーリズムとの連携など、知る機会を増やす
- ※ネガティブなことをおしゃれに、楽しいことを伝える。住民自らのモニタリング

地域 個人 企業・団体

- ◎流域治水ロゴマーク、ポスター
- ◎流域治水の日、週間
- ◎河川空間の利活用を通じた意識醸成
- ◎SNS等での情報発信
- ◎インフラツーリズムとの連携
- ◎ダイナミックSABO ◎はまツーリズム推進
- ◎危機管理水位計、簡易カメラ、浸水センサー等の拡充・閲覧周知

(2) 自分事化の機会創出と手段

- ◎防災教育(住民自ら記憶を伝える、行動を学ぶ)
- ◎水害伝承(記憶の風化を防ぎ教訓を伝える)
- ◎学べるコンテンツ(ウェブ、既存メディア活用)
- ◎補助金、税制優遇等の支援
- ◎防災関連ビジネスの推進、取り組みのアピール
- ◎社会を良くしたいという動機、SDGs
- ◎取り組みの位置づけ、効果可視化(デジタル活用)

地域 個人

- ◎防災教育の推進(既存施策)

地域 企業・団体

- ◎地域に貢献する水防活動への参画
- ◎流域治水オフィシャルサポーター制度
- ◎防災・減災ビジネスの推進(オープンデータ活用)

地域 企業・団体

- ◎デジタルテストベッド

(3) 自分事化を促す相手の把握と絞り込み(発信側と受け手側の例)

- ◎キーパーソンのタイプ(盛り上げ、自然環境、研究開発、危機意識)+河川ごとの特徴
- ◎リーダーの育成(防災士、気象予報士等との連携等)
- ◎インフルエンサー活用

- ◎防災教育に取り組む子供と家族
- ◎高齢者、災害弱者、若年層
- ◎リソースが不足している企業、建設分野他企業
- ◎地域のコミュニティ
- ◎金融関係機関

(4) 主体的な取り組みが進むための環境整備

地域 個人 企業・団体

- ◎共有プラットフォーム(全国流域治水MAP)

1) 取り組みを実行する仕組みづくり

- ◎きっかけは様々(河川の利用や生態系保全の取り組みから始めることも)
- ◎課題の把握、取組事例の共有と分析、人と人をつなぐ仕組みの構築

2) 社会のモードチェンジ

- ◎ポジティブな情動、同調圧力も ◎国からの情報発信による環境整備から

(5) 持続的に流域治水を推進

地域 個人 企業・団体

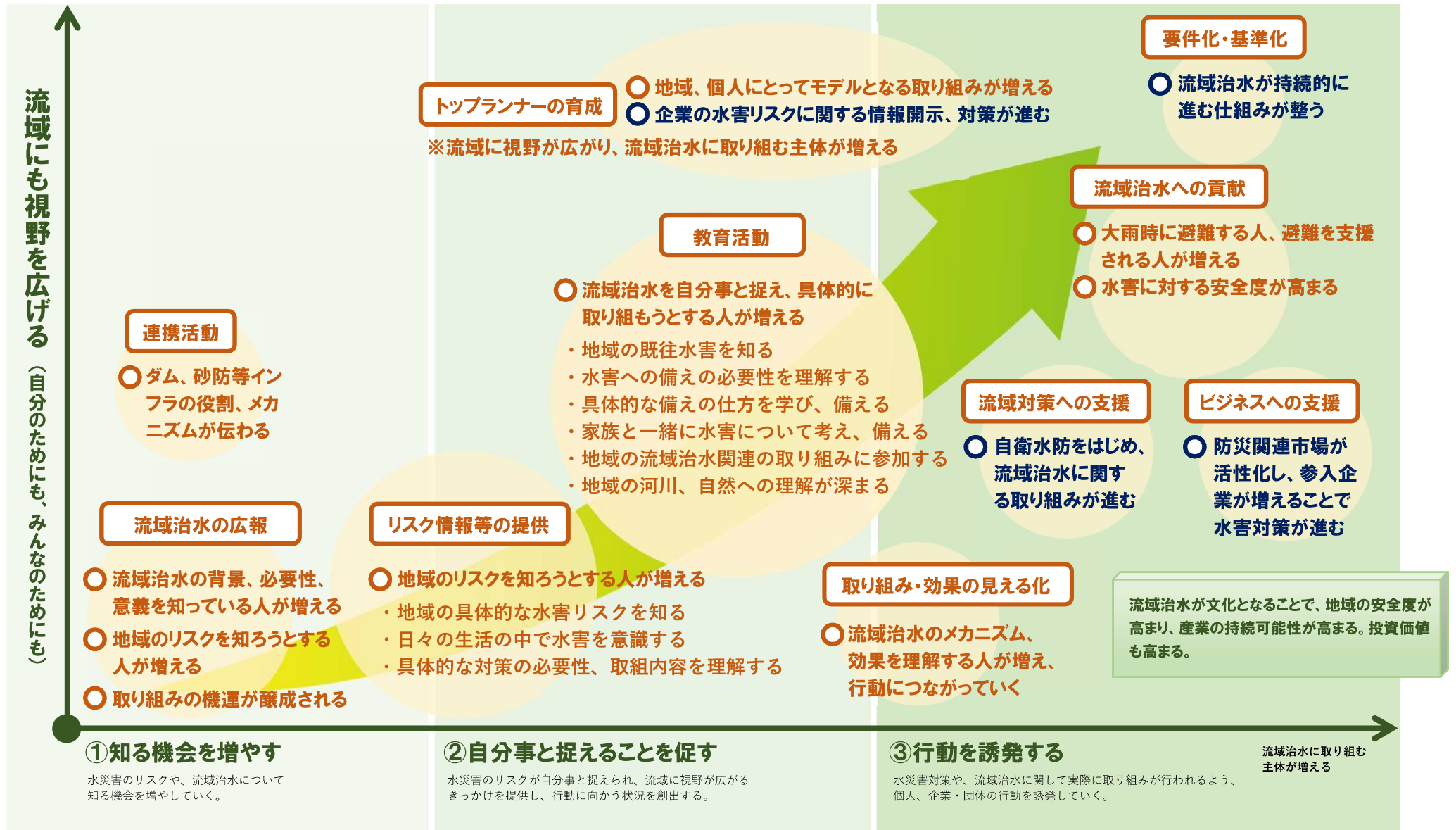
- ◎トップランナーの育成
- ◎防災教育を通じて流域に視野を広げる
- ◎農業・農村地域での取り組み(水を貯めることに対する農家と水管理組織の合意形成、防災対策と農村コミュニティ機能の相互依存的発展)

- ◎表彰制度(流域治水大賞)
- ◎円滑な避難を支援する人材育成(ファシリテーター派遣の仕組み)
- ◎気候変動リスク開示における民間企業の取り組みの支援(TCFD)
- ◎防災教育に関する素材提供
- ◎水害伝承に関する情報(コンテンツ)の普及・拡大

※各水系の流域治水プロジェクト等への反映とフォローアップ

5. 施策体系(目的、狙い)

○ 主に地域、個人に関するもの ○ 特に企業に特化したもの



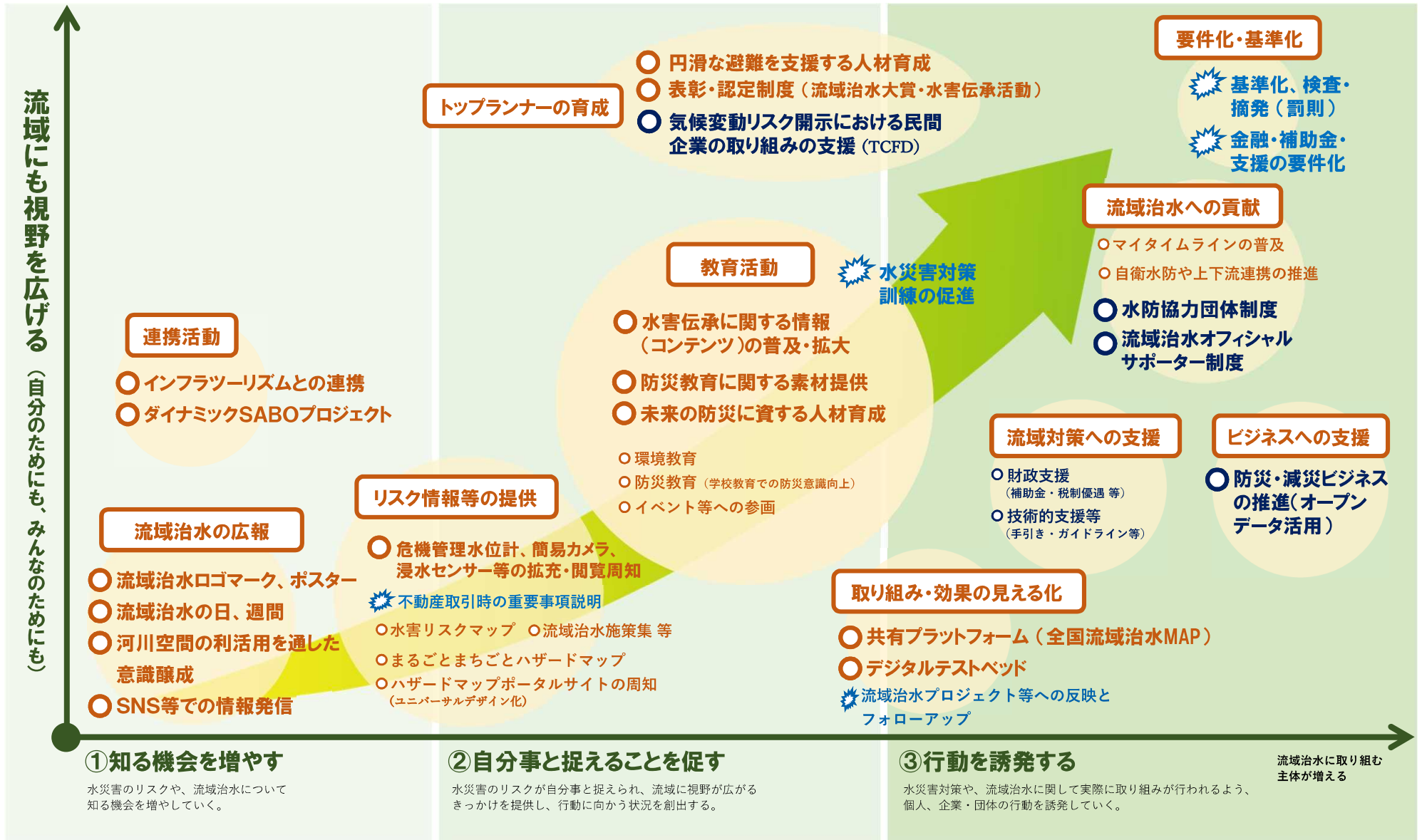
5. 施策体系

細字：既存施策
太字：新規施策

○ 自発的な取り組みを促す施策

○ 特に企業を対象とした施策

★ 一定の強制力を伴う施策



普及施策のロードマップ

ロードマップのイメージ:

①流域治水を知る機会を増やす取り組み

新規施策・主対象	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降	
①流域治水を知る機会を増やす取り組み	<p>○ 流域治水ロゴマーク、ポスター</p> <p>地域 個人 企業・団体</p>	<p>ロゴ公募(6月中旬~7月中旬)、審査、一般投票</p>	<p>ロゴ、ポスターの使用開始</p>		
	<p>○ 流域治水の日、週間</p> <p>地域 個人 企業・団体</p>	<p>各地方整備局等による気運醸成の取組</p> <p>枠組み検討</p>	<p>関係省庁調整</p>	<p>ロゴ等を活用した全国一斉の取組</p>	
	<p>○ 河川空間の利活用を通じた意識醸成</p> <p>地域 個人 企業・団体</p>		<p>かわまちづくり、ミズベリング等のイベントにおける流域治水の普及啓発 河川環境教育の教育向けパンフレットやこども向け教材の作成</p>		
	<p>○ SNS等での情報発信</p> <p>個人 企業・団体</p>		<p>各地方整備局等のSNS等を活用した情報発信 (全国一斉の取組)</p>		
	<p>○ インフラツーリズムとの連携</p> <p>個人 企業・団体</p>		<p>多くの人々にインフラを訪れてもらうための ・魅力の発信 ・受け入れ環境の整備</p>		
	<p>○ ダイナミックSABOプロジェクト</p> <p>地域 個人 企業・団体</p>	<p>取組事例の収集</p>	<p>・成功事例集を作成・活用し、全国における取組を推進 ・有識者会議を開催し、民間主体による砂防施設を活用した地域活性化・防災意識啓発ガイドラインを策定</p>		
	<p>○ はまツーリズム推進プロジェクト</p> <p>地域 個人 企業・団体</p>	<p>ナレッジ集(ver2.0)公表</p>	<p>海岸の利活用に関する先進事例の収集、海岸利用者・地域・海岸管理者のニーズ把握を継続し、順次ナレッジ集を増強・公表 はまのブランド化 (はまの価値の見える化に向けた指標を検討し、はまの価値の見える化を図る等) に向けた促進 海岸協力団体と連携した取組を促進</p>		
				<p>ガイドライン等を活用した全国展開</p>	

新規施策・主対象		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降
②自分事と捉えることを促す取り組み	<p>○ 防災教育に関する素材提供 未来の防災に資する人材育成</p> <p>個人 企業・団体</p>		<p>アクティブラーニングに対応するため、e-ラーニングで活用できる教材のユーザーインターフェースの改良及びコンテンツ作成</p>		
	<p>○ 水害伝承に関する情報(コンテンツ)の普及・拡大</p> <p>地域 個人 企業・団体</p>		<p>水害伝承認定制度、水害伝承活動に関する情報プラットフォームの検討</p>	<p>水害伝承認定の実施、水害伝承活動に関する情報プラットフォームの構築・運営</p>	
③行動を誘発する取り組み	<p>○ 共有プラットフォーム (全国流域治水MAP)</p> <p>地域 個人 企業・団体</p>		<p>データベース構築</p>	<p>・運用開始 (随時、取組事例の掲載)</p>	
	<p>○ デジタルテストベッド</p> <p>地域 企業・団体</p>		<p>流域デジタルツインの開発・試行</p>		<p>運用開始</p>
	<p>○ 地域に貢献する水防活動への企業等の参画</p> <p>地域 企業・団体</p>		<p>水防協力団体の実態調査、支援策の検討</p>	<p>水防協力団体の参加促進の取組を実施</p>	

新規施策・主対象		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降
③ 行動を誘発する取り組み	<p>○ 流域治水オフィシャルサポーター制度</p> <p>企業・団体</p>		<p>申請受付・認定</p> <p>各企業等による活動開始</p> <p>運用を踏まえた改善検討</p>	<p>運用改善に基づく取組の実施</p>	
	<p>○ 防災・減災ビジネスの推進 (オープンデータ活用)</p> <p>企業・団体</p>			<p>システム更改</p>	<p>データ提供開始</p>
④ 流域にも視野を広げる取り組み	<p>○ 円滑な避難を支援する人材育成 (防災士、水防団等の活用)</p> <p>地域 個人 企業・団体</p>		<p>円滑な避難を支援する人材育成の取組を推進</p> <p>アドバイザー派遣制度の検討</p>	<p>円滑な避難を支援するアドバイザー派遣の取組を推進</p>	
	<p>○ 気候変動リスク開示における民間企業の取組の支援 (TCFD)</p> <p>企業・団体</p>		<p>先進的に水害リスク評価及び対策を行う企業のPR</p> <p>洪水リスク評価手法の評価・認証などの検討</p>	<p>気候変動リスクの評価に必要なデータの一覧化</p> <p>洪水リスク評価実施の環境づくりのための更なるリスク情報の充実・公開</p>	
	<p>○ 表彰制度 (流域治水大賞)</p> <p>企業・団体 行政 個人 学校</p>		<p>表彰制度の検討</p>	<p>新たな表彰制度に基づく募集</p> <p>審査受賞者の選定</p>	<p>継続的な表彰</p>
<p>■流域治水 関係省庁</p> <p>・内閣府、金融庁、総務省、消防庁、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、林野庁、水産庁、経済産業省、資源エネルギー庁、中小企業庁、気象庁、環境省</p>					